

2017年7月期 決算説明会

Company Presentation

2017年 9月

TORIKIZOKU_∞

株式会社 鳥貴族
(証券コード：3193)

2017年7月期

TORIKIZOKU_∞

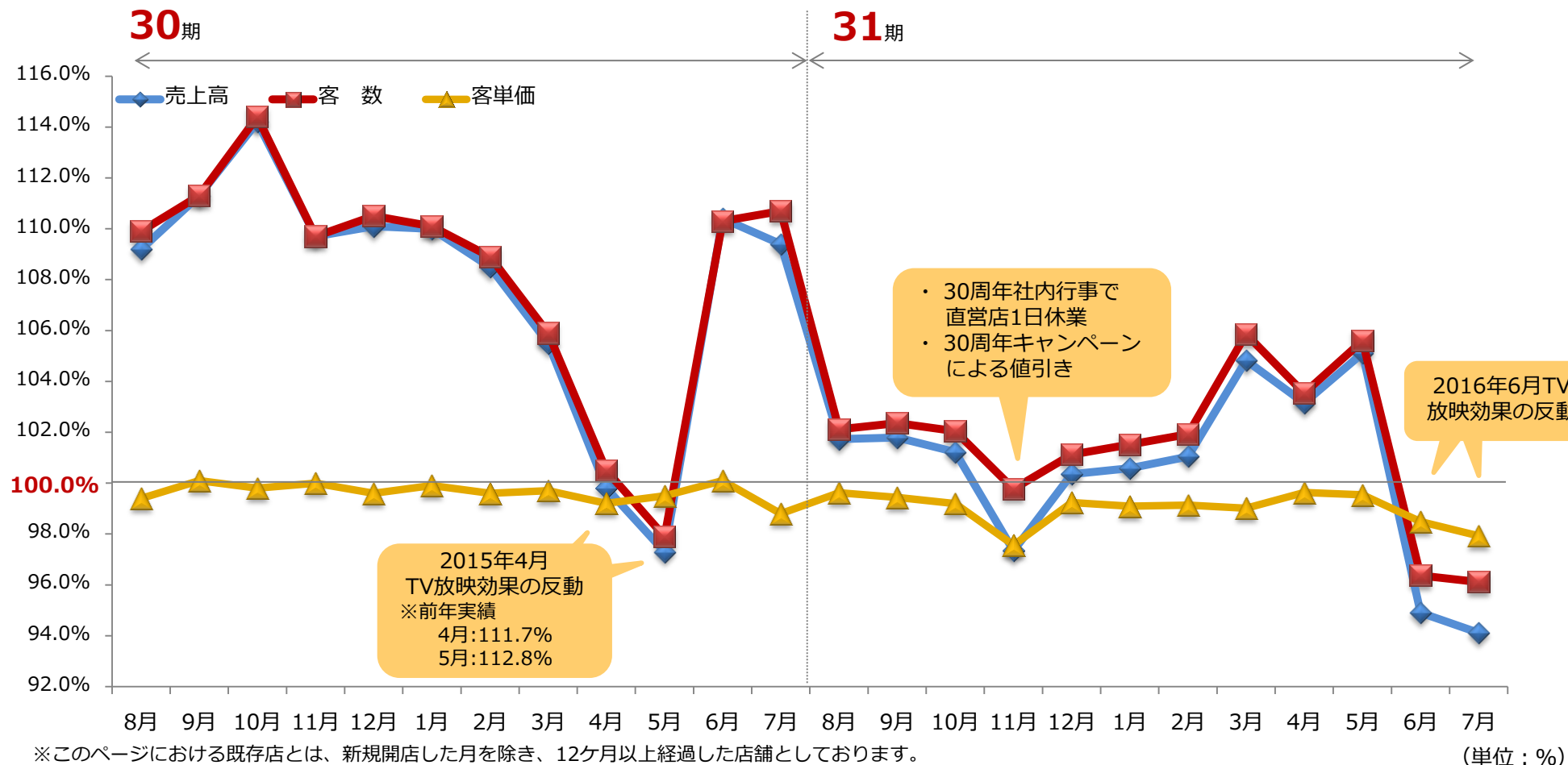


業績ハイライト（前期比）



(単位：百万円)	2016年7月期 通期実績 (売上比)	2017年7月期		主な増減要因	
		通期実績 (売上比)	前期比		
			%		金額
売上高	24,509	29,336	119.7	+4,827	売上高 ・新規出店 58店舗 ・前期新規出店店舗（60店舗）の寄与 売上総利益 ・食材国産化の影響 ・30周年記念キャンペーンの影響 ・食材仕入価格の高騰 販売費及び一般管理費 ・直営店増加による経費の増加 （人件費、採用費、減価償却費、地代家賃、水道光熱費等） ・30周年記念事業（式典、キャンペーン、新聞広告）
売上総利益	16,826 (68.7%)	19,932 (67.9%)	118.5	+3,105	
販売費及び一般管理費	15,230 (62.1%)	18,475 (63.0%)	121.3	+3,244	
営業利益	1,595 (6.5%)	1,457 (5.0%)	91.3	△138	
経常利益	1,547 (6.3%)	1,426 (4.9%)	92.2	△121	
当期純利益	981 (4.0%)	967 (3.3%)	98.6	△14	

既存店売上高前年比推移



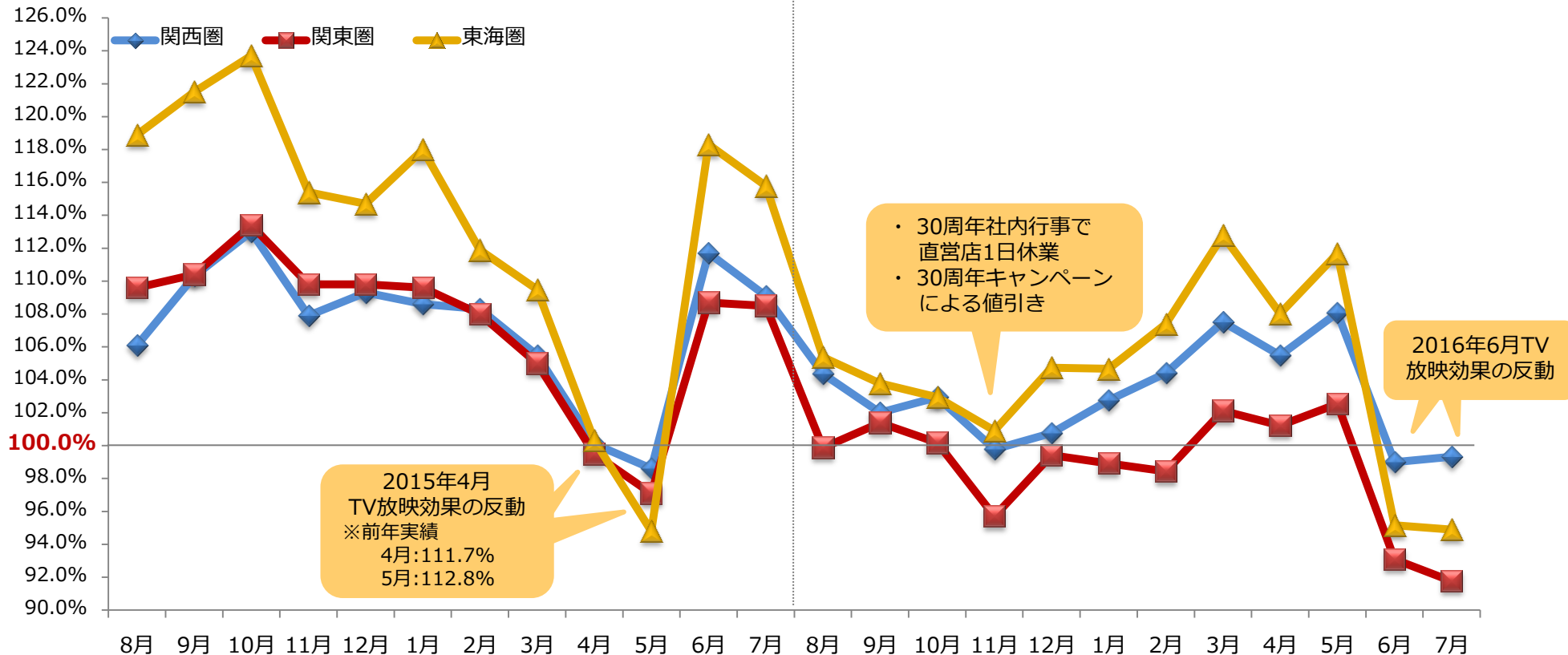
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	31期
売上高	109.2	111.3	114.2	109.7	110.1	110.0	108.5	105.5	99.8	97.3	110.4	109.4	101.7	101.8	101.2	97.3	100.4	100.6	101.0	104.8	103.1	105.1	94.9	94.1	100.4
客数	109.9	111.3	114.4	109.7	110.5	110.1	108.9	105.9	100.5	97.9	110.3	110.7	102.1	102.3	102.0	99.7	101.1	101.5	101.9	105.9	103.5	105.6	96.4	96.1	101.4
客単価	99.4	100.1	99.8	100.0	99.6	99.9	99.6	99.7	99.2	99.5	100.1	98.8	99.6	99.5	99.2	97.6	99.2	99.1	99.1	99.0	99.6	99.5	98.5	97.9	99.0

既存店売上高前年比推移 (エリア別)



30期

31期



※このページにおける既存店とは、新規開店した月を除き、12ヶ月以上経過した店舗としております。

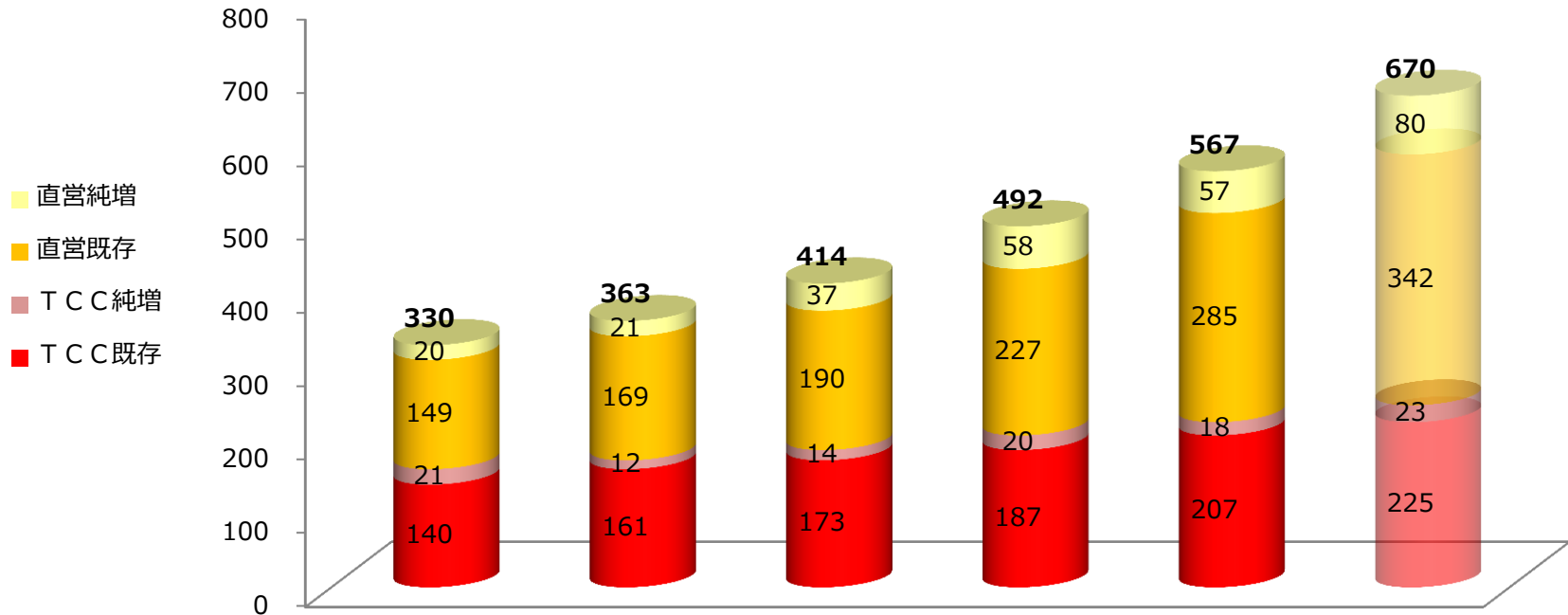
(単位：%)

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	31期
関西圏	106.1	110.3	113.0	107.9	109.3	108.6	108.3	105.5	100.1	98.6	111.7	109.1	104.4	102.0	102.9	99.8	100.8	102.8	104.4	107.5	105.5	108.1	99.0	99.3	103.0
関東圏	109.6	110.4	113.4	109.8	109.8	109.6	108.0	105.0	99.5	97.1	108.7	108.5	99.0	101.4	100.2	95.7	99.4	98.9	98.4	102.1	101.2	102.5	93.1	91.8	98.6
東海圏	118.9	121.5	123.7	115.4	114.7	118.0	111.9	109.5	100.3	94.8	118.3	115.8	105.4	103.8	102.9	100.9	104.7	104.7	107.4	112.8	108.0	111.7	95.2	94.9	104.0

店舗数推移



- 直営店 新規出店58店舗（計画比△22店舗）
- TCC店 新規出店20店舗（計画比±0店舗）
- 32期も引き続き関東を中心に直営店80店舗純増、TCC店23店舗純増を計画



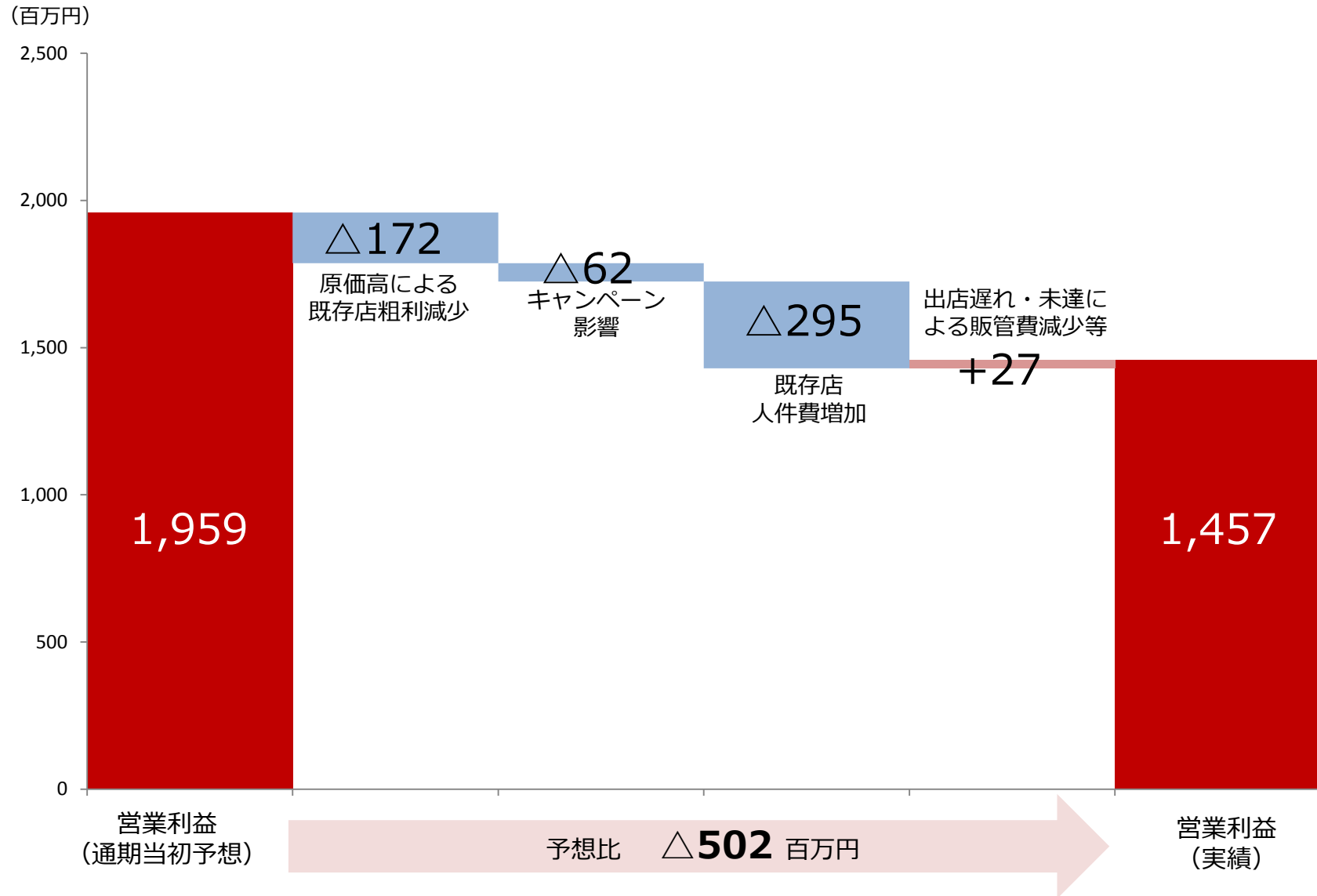
		2013年7月期	2014年7月期	2015年7月期	2016年7月期	2017年7月期 (実績)	2018年7月期 (計画)
合計	期末合計	330	363	414	492	567	670
直営	期末店舗数	169	190	227	285	342	422
	純増	20	21	37	58	57	80
TCC	期末店舗数	161	173	187	207	225	248
	純増	21	12	14	20	18	23

業績ハイライト (予想比)



(単位：百万円)	2017年7月期							主な増減要因 (対当初予想比)
	当初予想 (売上比)	修正予想 (売上比)	通期実績 (売上比)	当初予想比		修正予想比		
				%	金額	%	金額	
売上高	30,740	29,102	29,336	95.4	△1,403	100.8	+233	売上高 ・新規出店の遅れ、未達 (計画比△22店舗) 売上総利益 ・30周年記念キャンペーンの影響 ・食材仕入価格の高騰 販売費及び一般管理費 ・教育、研修強化やプロジェクトによる削減効果の未達による人件費増加 ・出店未達による販管費減少
売上総利益	21,075 (68.6%)	19,791 (68.0%)	19,932 (67.9%)	94.6	△1,143	100.7	+141	
販売費及び一般管理費	19,115 (62.2%)	18,469 (63.5%)	18,475 (63.0%)	96.7	△640	100.0	+5	
営業利益	1,959 (6.4%)	1,321 (4.5%)	1,457 (5.0%)	74.3	△502	110.3	+135	
経常利益	1,928 (6.3%)	1,294 (4.4%)	1,426 (4.9%)	74.0	△501	110.2	+132	
当期純利益	1,164 (3.8%)	851 (2.9%)	967 (3.3%)	83.1	△197	113.7	+116	

業績ハイライト (当初予想比)



貸借対照表



(単位：百万円)	2016年 7月期末	2017年 7月期末	増減	主な増減内容
資産の部				
流動資産	4,875	6,069	+1,193	出店・店舗数増加に伴う現預金の増加
固定資産	7,601	9,873	+2,271	店舗数増加による建物、リース資産、差入保証金の増加
資産合計	12,477	15,942	+3,464	
負債の部				
流動負債	4,490	5,897	+1,407	店舗数増加による営業債務の増加
固定負債	2,444	3,710	+1,265	長期借入金の借入、店舗数増加に伴う長期リース債務、資産除去債務の増加
負債合計	6,934	9,608	+2,673	
純資産の部				
純資産合計	5,542	6,333	+791	当期純利益の計上

自己資本比率	44.4%	39.7%	△4.7pt
ROE	19.4%	16.3%	△3.1pt

キャッシュ・フローの状況



(単位：百万円)	2016年7月期	2017年7月期
営業キャッシュ・フロー (a)	2,412	3,000
税引前当期純利益	1,450	1,448
減価償却費	948	1,093
売上債権の増減額 (△は増加)	△72	△39
仕入債務の増減額 (△は減少)	243	143
未収入金の増減額 (△は増加)	△96	△11
未払金の増減額 (△は減少)	267	221
その他	△327	143
投資キャッシュ・フロー (b)	△2,476	△2,394
有形固定資産の取得による支出	△2,142	△1,986
差入保証金の差入による支出	△241	△246
その他	△92	△161
財務キャッシュ・フロー	△1,021	480
フリーキャッシュ・フロー (a)+(b)	△64	606
現金及び現金同等物の期末残高	3,648	4,735

中期経営計画 振り返り

TORIKIZOKU_∞



中期経営計画の振り返り



【経営方針】

「鳥貴族」単一業態によるチェーン展開

【中期経営目標】（2015年7月期～2017年7月期）

- 3商圈 500店舗 売上高250億円
- 既存店売上 年間101%（対前年）
- 経常利益率 5%以上維持

【重要施策】

- ✓ 新規出店の強化
- ✓ 国産国消への挑戦
- ✓ 人財基盤の強化

ブランドの向上

重要施策 実施結果



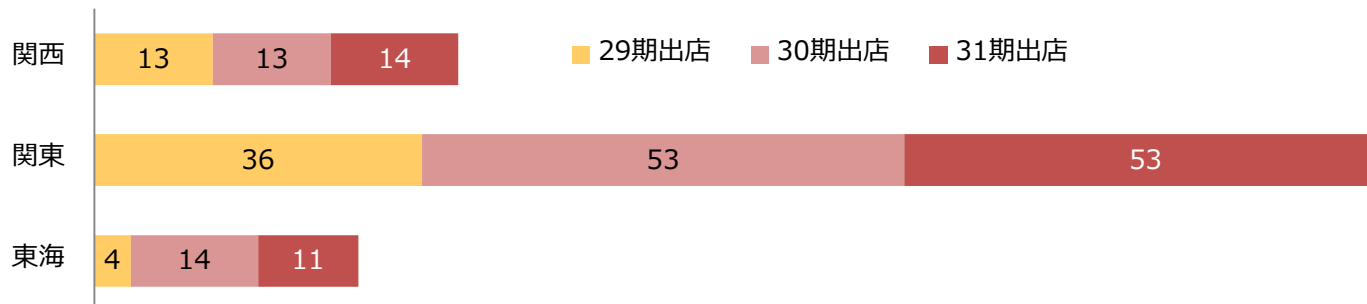
■ 新規出店の強化

関東を中心に3ヶ年で直営店を155店舗、TCC店を56店舗出店し、中期経営計画最終年度末時点 567店舗で着地。中期経営目標である500店舗を達成。

(単位：店舗)

			29期	30期	31期	合計	31期末時点 店舗数
直営	出店	関西	5	7	7	19	87
		関東	28	39	40	107	204
		東海	4	14	11	29	51
	独立		0	-1	-1	-2	—
	退店		0	-1	0	-1	—
	純増		37	58	57	152	342
TCC	出店	関西	8	6	7	21	151
		関東	8	14	13	35	74
		東海	0	0	0	0	0
	独立		0	1	1	2	—
	退店		-2	-1	-3	-6	—
	純増		14	20	18	52	225
純増合計			51	78	75	204	567

(3ヶ年の期別・エリア別出店数/単位：店舗)



重要施策 実施結果



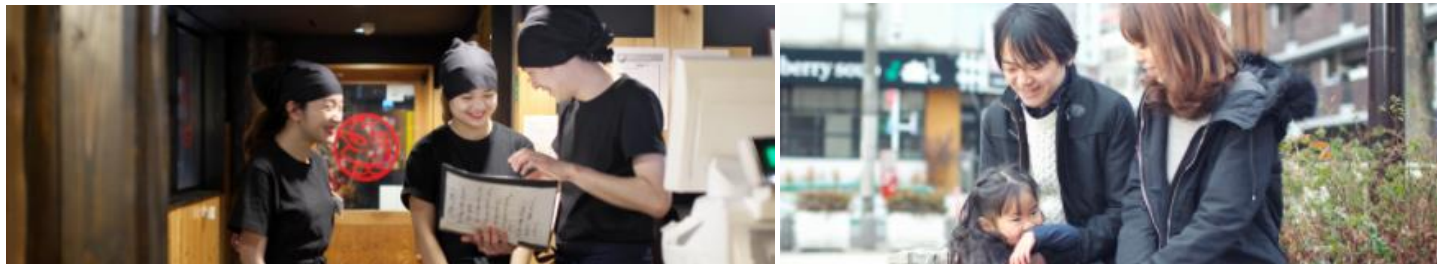
■ 国産国消への挑戦

当初計画通り、3ヶ年でフードに使用する全食材の国産化を達成。
天候不順による影響を受けたものの、お客様にはご好評いただき、既存店売上高の向上に寄与。今後も、自然災害や店舗数増加に対応した安定供給の確保に努め、“国産国消”は継続。



■ 人財基盤の強化

- ✓ 多様な勤務形態の創設（地域限定、短時間社員）
- ✓ こども手当の充実化等の制度改定
- ✓ 研修制度を整備し、階層ごとの技能・知識の習得を推進
- ✓ 退職金制度の拡充



中期経営目標 達成状況



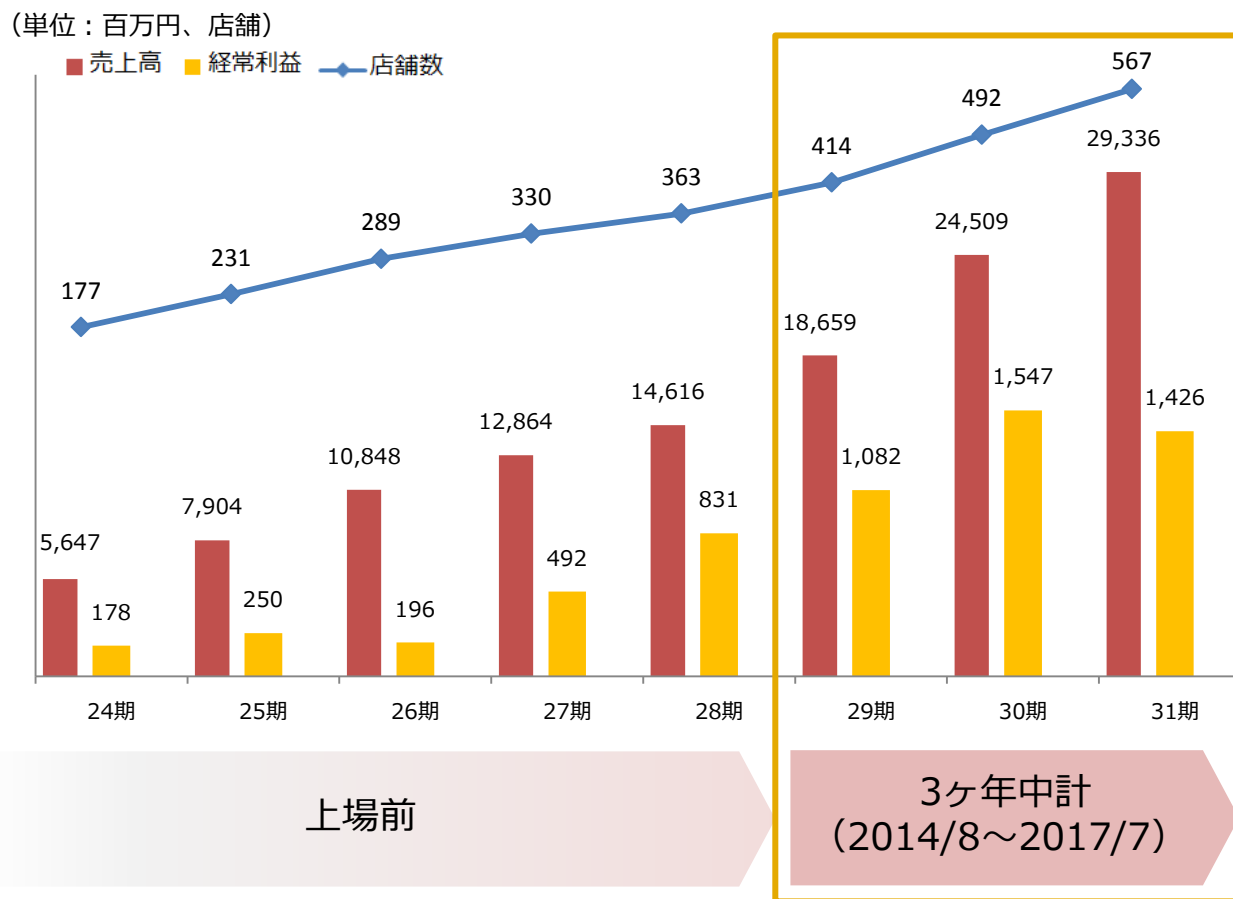
- 店舗数、売上高は目標を達成
- 既存店売上高前年比は、29～30期が107%台と好調に推移し当初見込みよりも上振れしたものの、31期は未達で着地（31期単年度計画比では計画通りの着地）
- 経常利益率は、31期において原価高や人件費の増加等により31期は未達

	29期	30期	31期
3商圈500店舗 売上高250億円	414店舗 186億円	492店舗 245億円	567店舗 293億円
既存店売上高 年間101%（対前年）	107.9%	107.6%	100.4%
経常利益率 5%以上維持	5.8%	6.3%	4.9%

業績推移



- 中期経営目標の一部が未達となったものの、当該3ヶ年中計により成長を加速
- 一方で、最終年度減益を踏まえ、出店の更なる加速と利益効率の改善を課題と認識



価格改定について

TORIKIZOKU_∞



価格改定について



■ 改定の背景

昨今の経済的諸条件及び今後の見通しを総合的に検討し、10月1日より価格を改定いたします。

- ・ 労働需給逼迫を背景とした人件費の中長期的な上昇
- ・ 国産食材の仕入価格高騰リスク
- ・ 酒税法改正の影響

■ 改定の内容

10月1日（日）付けの営業から改定

	改定前価格	改定後価格
フード・ドリンク	280円（税込302円）	298円（税込321円）
28とりパーティー	2,800円（税込3,024円）	2,980円（税込3,218円）

価格改定について

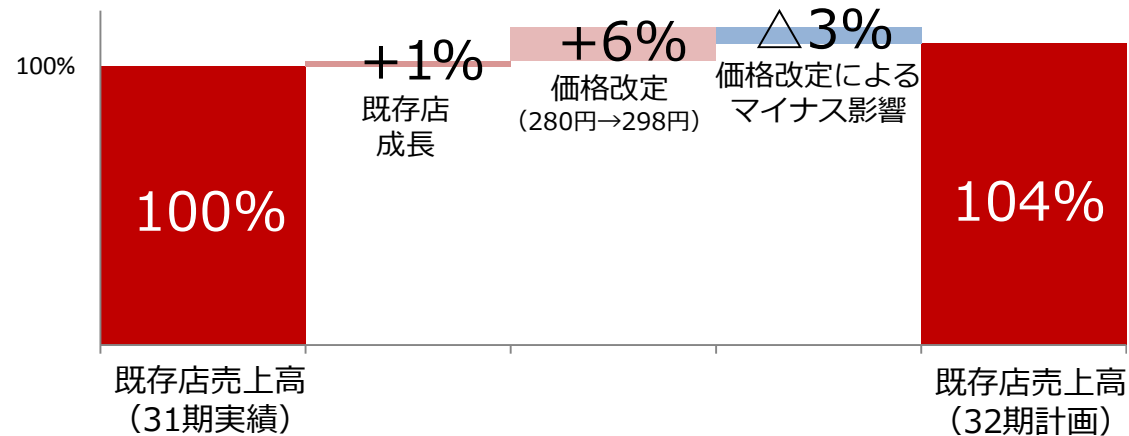


■ 改定による影響

✓ 売上高

価格が上がる一方で、価格改定によるマイナス影響が△3%程度生じる可能性がある想定。

(既存店売上高前期比イメージ)



✓ 経費

- ・ 通常メニュー改定に合わせて、メニューブック等の店舗備品の切替経費は軽微。
- ・ 価格記載のある看板は消費税増税前から随時変更を実施しており、直営店は残り41店舗。当初より32期での変更完了を計画しており、損益へ与える影響は軽微。

中期経営計画 “うぬぼれチャレンジ1000”

TORIKIZOKU_∞



経営理念・ビジョン



焼鳥屋で世の中を明るくする

永遠の理念 「鳥貴族のうぬぼれ」
永遠の使命 「外食産業の社会的地位向上」
永遠の目的 「永遠の会社」

理念

「鳥貴族」単一業態でのチェーン展開

経営方針

日本一、そして世界の「鳥貴族」へ
～国内2,000店舗体制、海外進出・展開～

長期ビジョン

国内市場における確固たるブランドの確立
海外進出に向けた認知の向上
～国内1,000店舗体制～

中期ビジョン

うぬぼれチャレンジ1000

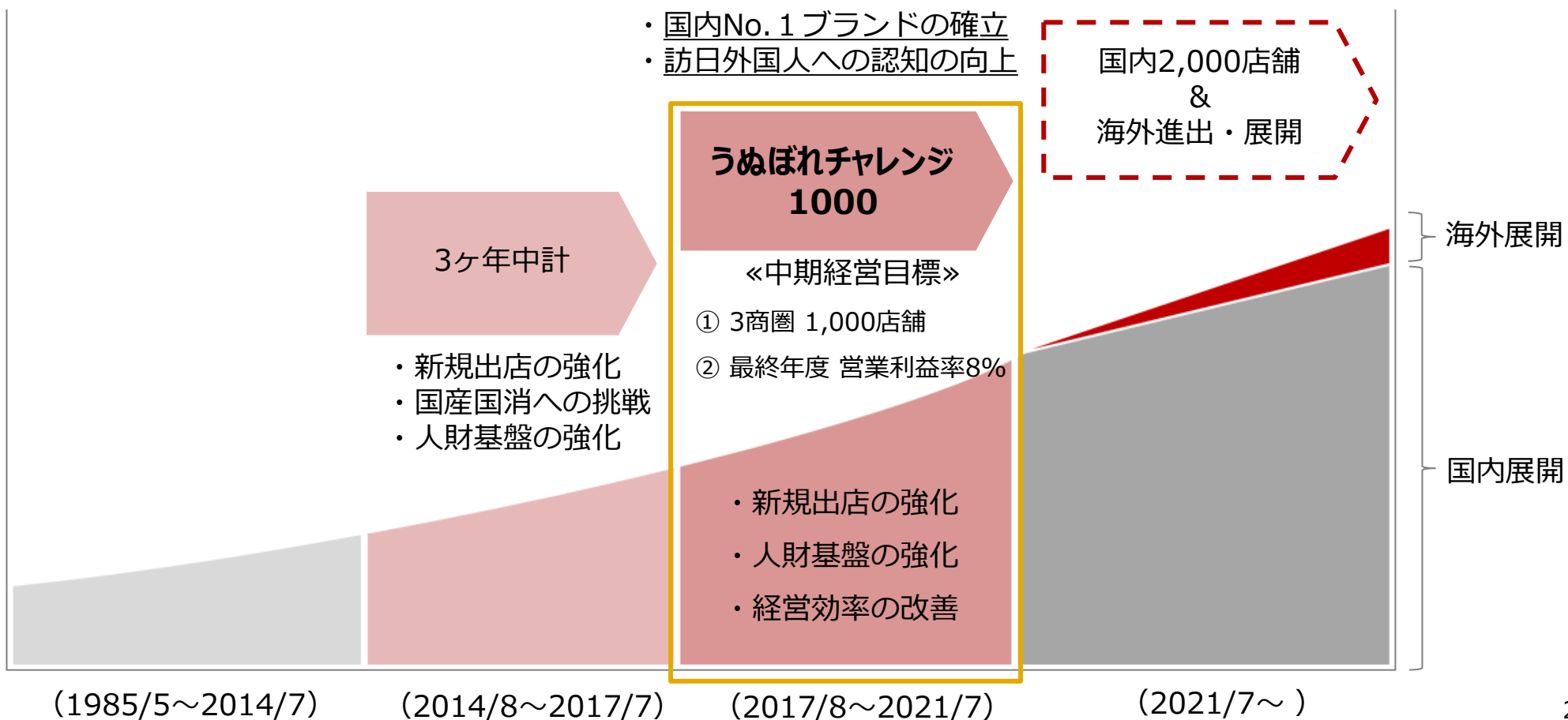
中期経営計画

(2018年7月期～2021年7月期)

新中期経営計画 “うぬぼれチャレンジ1000”



- 長期ビジョン「国内2,000店舗体制 & 海外進出・展開」へ向け、国内での盤石な「鳥貴族」ブランド確立と海外進出へ向けた知名度の向上を目指し、新中期経営計画 “うぬぼれチャレンジ1000” を策定



新中期経営計画 “うめぼれチャレンジ1000”



【経営方針】

「鳥貴族」単一業態によるチェーン展開



中期経営目標
(2021年7月期末時点)

3商圈 1,000店舗

営業利益率 8%



【重要施策】

- ✓ 新規出店の強化
- ✓ 人財基盤の強化
- ✓ 経営効率の改善

重要施策



- 「鳥貴族 単一業態でのチェーン展開」の経営方針のもと、3つの重要施策を推進し、中期経営目標の達成を目指す。

■ 新規出店の強化

- ・ 情報元母集団増加による情報入手量の増加
- ・ 成約期間、工期短縮による出店スピードの向上
- ・ 店舗開発、建築担当者の増員及び教育

■ 人財基盤の強化

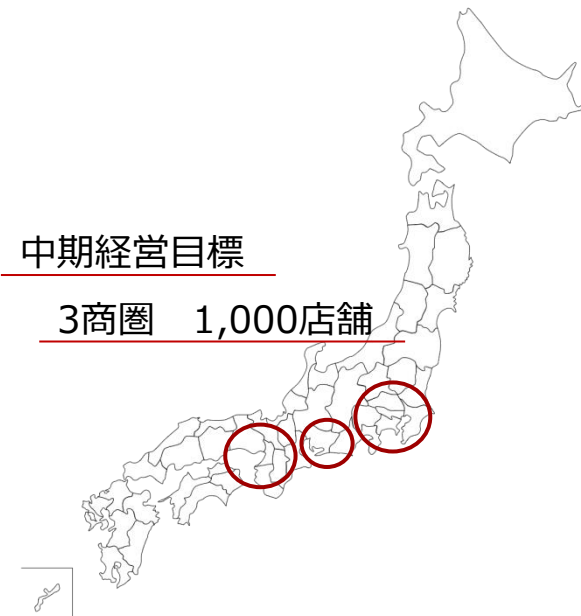
- ・ 新卒採用数の拡大、中途採用数の維持向上
- ・ 労働環境の維持・向上による離職者数の抑制
- ・ 社員教育体系のブラッシュアップによる全社員の成長促進

■ 経営効率の改善

- ・ 新店の早期黒字化
- ・ 店舗営業時間の見直しによる店舗利益効率の改善
- ・ 店舗運営、仕込みオペレーションの効率化
- ・ IT活用による店舗運営の効率化

中期経営目標

3商圈 1,000店舗



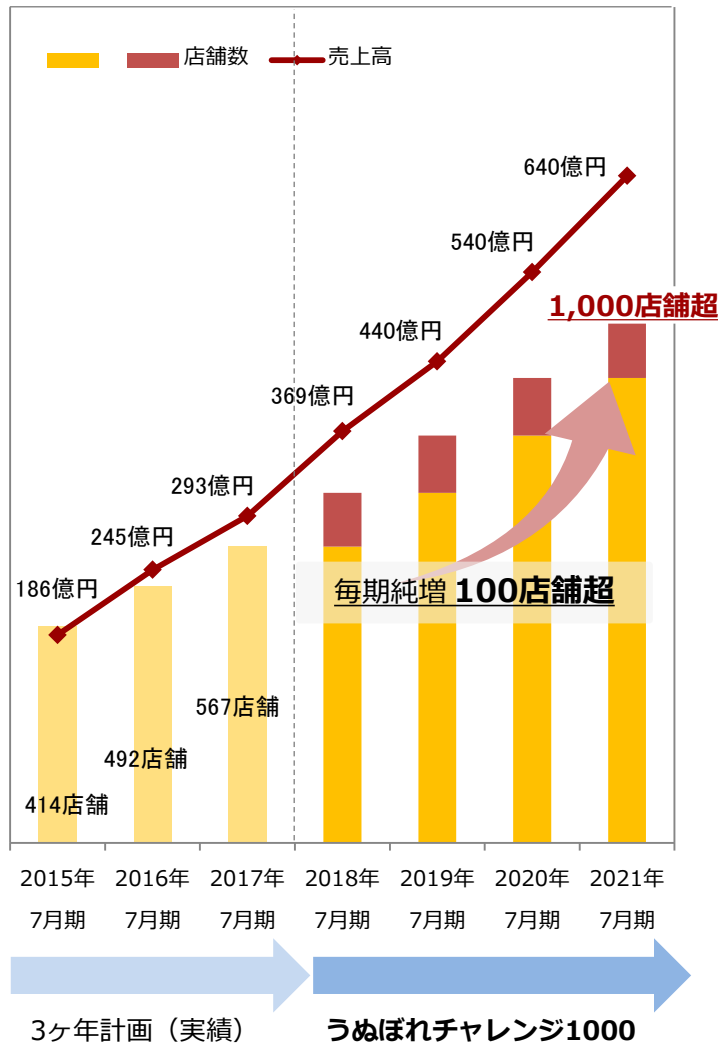
中期経営目標

営業利益率 8%

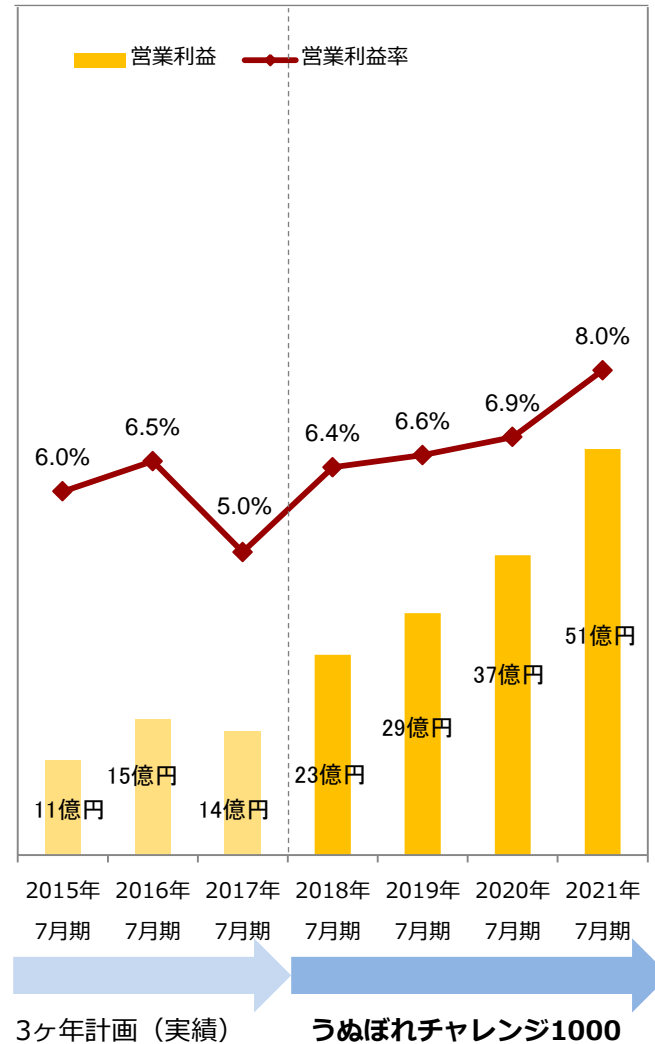
業績計画



売上高・期末店舗数



営業利益・営業利益率



投資・財務・株主還元方針



■ 投資方針

“うめぼれチャレンジ1000”の期間中は将来の成長に向けた投資を継続的に実施。

- ・ タッチパネル等の店舗運営効率改善へ向けたIT投資
- ・ たれ工場への投資（大阪工場の改善、第2工場の新設）
- ・ 長期ビジョンである「地方、海外進出」準備
- ・ 店舗安全衛生強化のための既存店の修繕等の投資

■ 財務方針

成長を加速させる一方、業容拡大に伴い自己資本比率の低下が想定されるが、自己資本比率40%を目安とし、一定の財務健全性を維持する。

■ 株主還元基本方針

成長戦略への内部留保を優先するが、安定的かつ継続的な配当を基本とし、株主還元を実施する。

2018年7月期 業績予想

TORIKIZOKU_∞



業績予想



■ 売上高前期比125.9%、営業利益前期比162.2%と計画

- ✓ 既存店売上高前年同期比104%
- ✓ 物件情報元の増加、開発人員の確保・育成、出店エリア拡大等により直営店純増80店舗を計画
- ✓ 採用強化及び属性別・階層別研修等による人財基盤の強化
- ✓ タッチパネル導入の拡大（132店舗）等による効率化の推進

(単位：百万円)

	2017年7月期 通期実績 (売上比)	2018年7月期		
		通期予想 (売上比)	前期比	
			%	金額
売上高	29,336	36,939	125.9	7,603
営業利益	1,457 (5.0%)	2,363 (6.4%)	162.2	906
経常利益	1,426 (4.9%)	2,281 (6.2%)	159.9	855
当期純利益	967 (3.3%)	1,339 (3.6%)	138.4	371
1株当たり 当期純利益	83円55銭	115円59銭		

配当予想及び株主優待



■ 株主還元基本方針

成長戦略への内部留保を優先するが、安定的かつ継続的な配当を実施

	2016年7月期 (実績)		2017年7月期 (実績)		2018年7月期 (予想)	
	中間	期末	中間	期末	中間	期末
配当性向	7.0%		9.6%		6.9%	
一株当たり配当金	2円	4円	4円	4円	4円	4円

普通配当：2円
記念配当：2円
(東証一部指定)

■ 株主優待制度

ご所有株式数	株主優待
100株～299株	年間2,000円相当のお食事ご優待券 (中間と期末にそれぞれ1,000円相当を送付)
300株～499株	年間6,000円相当のお食事ご優待券 (中間と期末にそれぞれ3,000円相当を送付)
500株以上	年間10,000円相当のお食事ご優待券 (中間と期末にそれぞれ5,000円相当を送付)



参考資料

TORIKIZOKU_∞



(参考) 会社概要



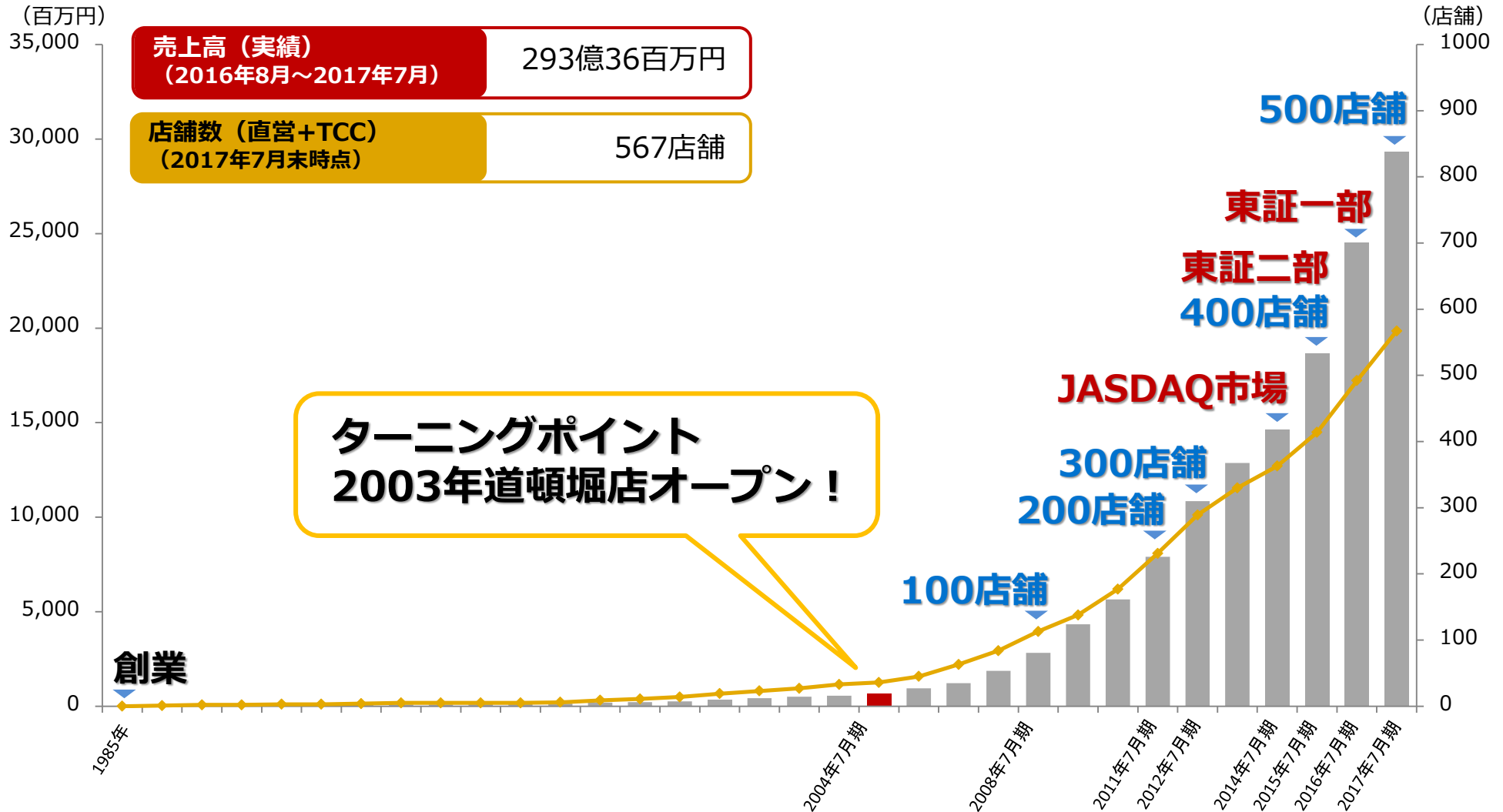
社名	株式会社 鳥貴族
設立	1986年9月19日
上場市場	東証一部（証券コード：3193）
本社	大阪市浪速区立葉1-2-12
代表者	代表取締役社長 大倉 忠司
資本金	1,491,829,125円（2017年7月末現在）
店舗数	店舗数 567店舗（2017年7月末現在） ●直営 342店舗 ●TCC ^{*1} 225店舗
従業員数	従業員数 700名（2017年7月末現在） （外、平均臨時雇用者数 ^{*2} 3,101名）
事業所	●大阪本社・タレ製造工場 ●東京事務所 ●名古屋事務所 ●浜松事務所



*1 当社では、一般的なフランチャイズチェーンよりも強固なビジネスパートナーとしての関係性を確保することを目的として、限られた加盟店オーナーを「カムレード」と称しており、TCCは鳥貴族カムレードチェーンの略です。

*2 平均臨時雇用者数は、1日の労働時間を8時間で換算した年間平均の人数です。

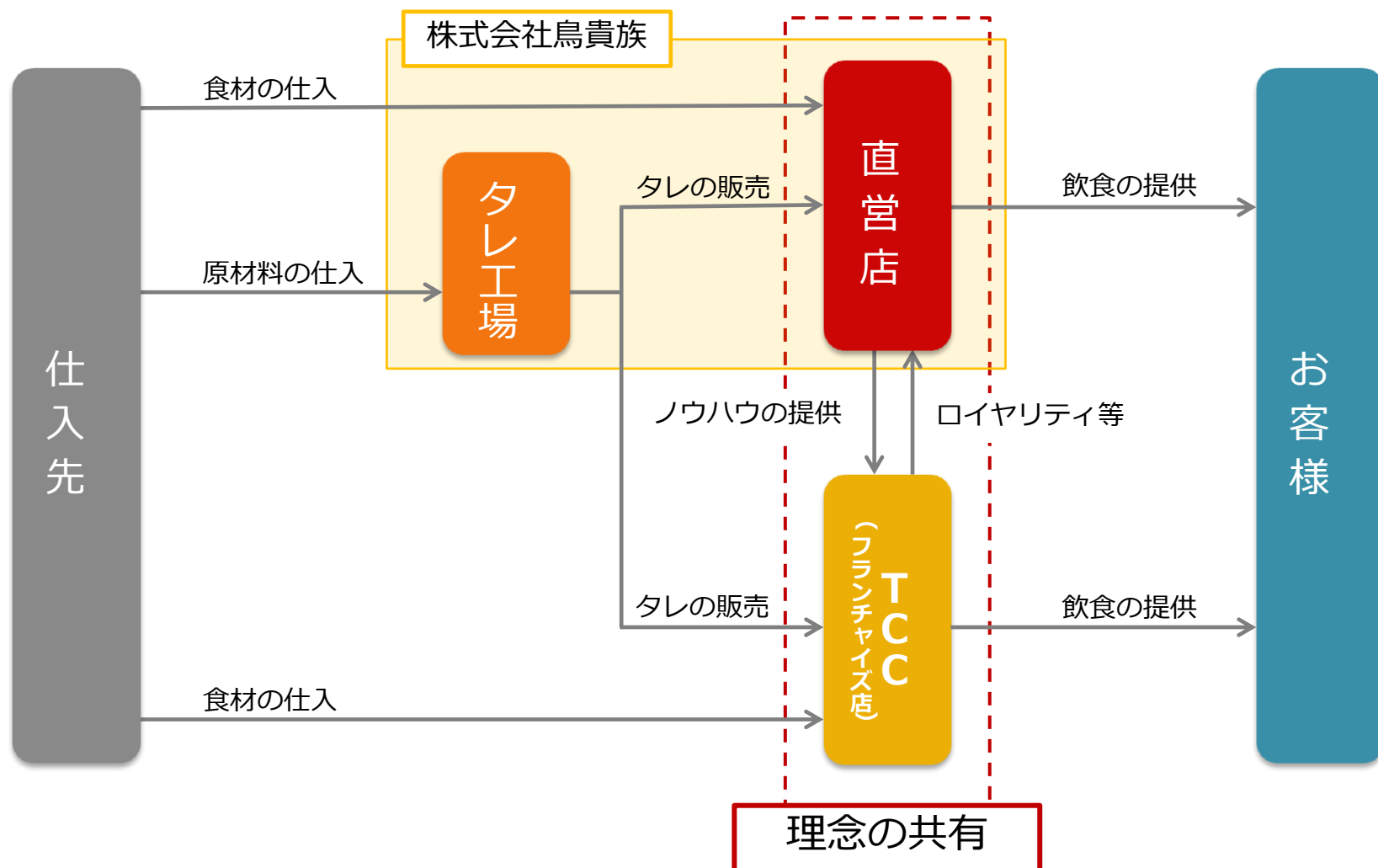
(参考) 沿革



(参考) 事業系統図

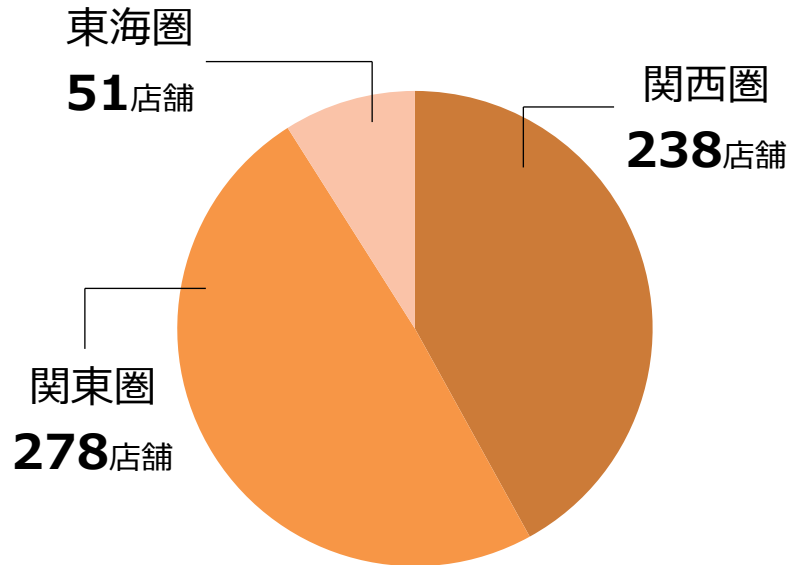


タレ工場以外、セントラルキッチンを保有せず、各店舗で仕込み ⇒ 手作りの強み

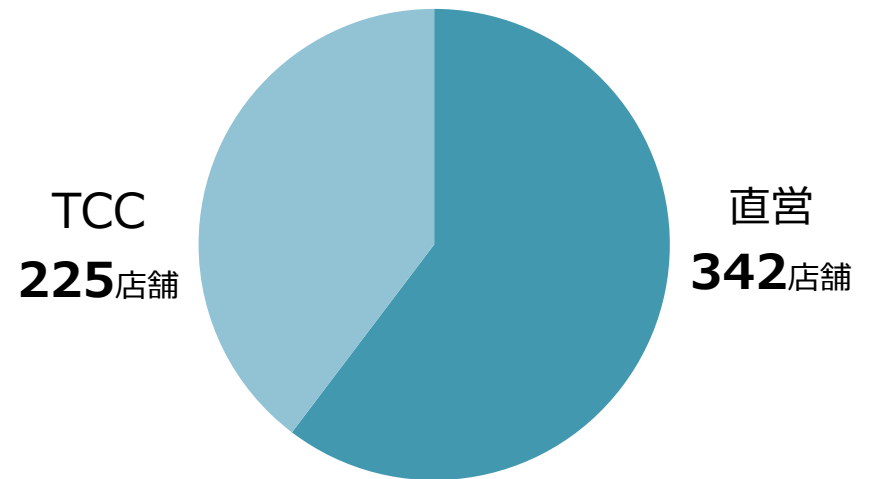


(参考) エリア別・運営形態別の店舗数 (2017年7月末)

【エリア別】

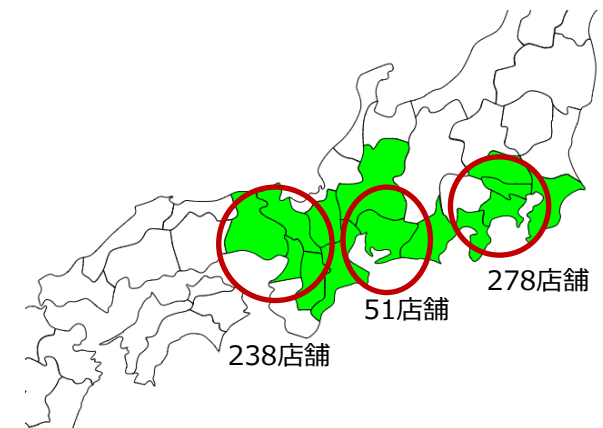


【運営形態別】

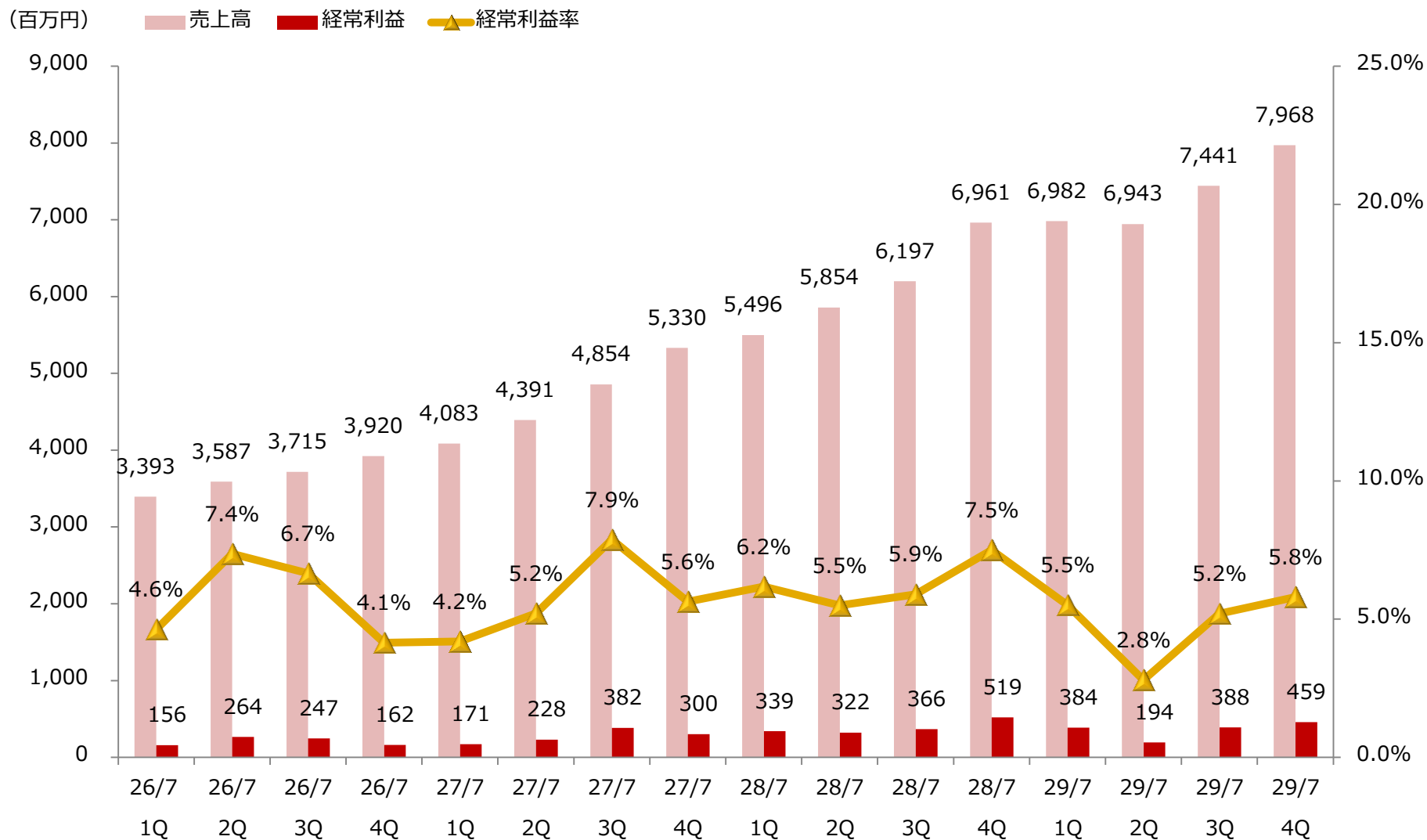


(単位：店舗)

エリア	合計店舗数	運営形態	
		直営店舗数	TCC店舗数
関西圏	238	87	151
関東圏	278	204	74
東海圏	51	51	0
合計	567	342	225



(参考) 四半期業績の推移



注意事項



- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社鳥貴族(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものであり、当社株式の購入を勧誘するものではありません。
- 当資料に記載された内容は、発表日時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。
- その他の掲載内容に関しても細心の注意を払っておりますが、不可抗力により情報に誤りを生ずる可能性もありますのでご注意ください。
- 無断での複製又は転用等を行わないようお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社鳥貴族 IR担当

TEL 06-6562-5333

<https://www.torikizoku.co.jp/company/ir/contact/>